読者プレゼント ③

自分のキャラを
つくるセット

写真1枚から3Dのちびキャラ。
何回つくっても
同じ顔のままにするコツつき

貼る文（全文）＋JSONのひな形＋記入シート

ステップ1　写真をちびキャラにする

顔と髪型がよく分かる写真を**1枚**つけて、下の文と次のページの文を**まとめて1回で**貼ります。

【全体】
添付した写真の人物の特徴と雰囲気を残したまま、質の高い3Dのちびキャラクターに変身させてください。本人らしさを大切に、かわいくて魅力的な小さなキャラクターに仕上げます。

【体型と顔】
・2.5〜3頭身。頭は大きめ、体は小さめ
・大きくて表情ゆたかな瞳
・まるみのあるやわらかい顔立ち
・ほおに、ほんのり赤みとチークの色
・親しみやすい、自然な笑顔
・髪型・髪色・メガネ・服・小物は、写真に忠実に
・別人にせず、元の写真の個性を残す
・手足は小さくて丸い
・子どもっぽくせず、大人をかわいくしたバランス

ポイント　服を変えたいときは、服の写真をつけるか、言葉で書きます。

ステップ1のつづき

【3Dの質感】
・海外の劇場アニメのような、なめらかで上質なCG
・特定の作品やキャラには似せない、オリジナルの絵
・立体感のあるなめらかなモデリング
・髪は一本ずつの流れがわかる、細かな質感
・瞳に自然な光（キャッチライト）と透明感
・肌はやわらかく、自然な血色
・服は、布の繊維やしわまでリアルに
・安っぽいプラスチック人形のようにしない

【構図】
・キャラクター1人だけの、プロフィール写真のような構図
・画面の中央に大きく。全身か、ひざ上まで
・背景はシンプルで上品に
・ほかの人物やキャラクターは足さない
・文字・ロゴ・説明は入れない

【光】
・やわらかい、映画のような光
・あたたかみのある自然光
・輪郭を引き立てる、きれいなリムライト
・やわらかい影
・背景は適度にぼかして、主役を際立たせる

【仕上がりのキーワード（英語のまま）】
high-end 3D character render, cinematic lighting, soft global illumination, detailed hair strands, realistic fabric texture, subtle skin shading, expressive eyes, professional character portrait, premium animation-film quality, ultra detailed, clean composition

【最後に】
元の人物の特徴を最優先に、「写真をそのまま高品質な3Dミニキャラにした」ように仕上げてください。

ステップ2　見た目を「決まり」にする

できたキャラが気に入ったら、こう頼みます。

> **このキャラの見た目の決まりを、JSON（ジェイソン）にして。**
> 耳はなし 、色は クリーム色 、 太らせない 。

返ってきたメモを、**次から毎回いっしょに貼る**と、顔や服が変わりにくくなります。
JSONは自分で書かなくて大丈夫。下はひな形です。

```
{
  "名前": "【　】",
  "体": "【2.5頭身・小さめ】",
  "顔": "【丸い顔・大きな瞳・ほおにピンク】",
  "髪": "【茶色・肩まで・ゆるいウェーブ】",
  "服": "【紺のブラウス・クリームのパンツ】",
  "色": ["【紺】", "【クリーム】"],
  "小物": "【メガネなし・スマホ】",
  "絶対にしないこと": ["【耳をつけない】", "【太らせない】", "【服を変えない】"]
}
```

つまずいたら　キャラが変わった・耳が出た → このメモを貼り直して「この決まりのとおりに直して」。

ステップ3　記入シート

キャラを決める前に、ここを埋めておくと迷いません。

名前	
どんな役	（例）私の代わりにSNSを手伝う相棒
口ぐせ	
色 2つ	
いつも持つ物	
絶対に変えない所	



見本：本に出てくる**アオイ**。
茶色の肩までの髪・紺のブラウス・クリームのパンツ、と**「変えない所」**を決めてあるので、どのページでも同じ人に見えます。

ここに注意　ほかの人の作品やキャラを、そのまま写すのはやめましょう。